

平成18年度 定置用燃料電池システムの設置開始について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、財団法人新エネルギー財団が実施する「平成18年度 定置用燃料電池大規模実証事業」において33台分の助成金交付の決定を受けておりますが、このたび、LPG改質型定置用燃料電池システム「JOMO ECOCUBE」の本年度の設置を開始いたしました。本年度第1号機は、去る8月22日に佐賀県の一般家庭に設置し、本日までに計4台を設置しております。今後、順次設置工事を取り進め、年内を目途に計33台を設置する予定です。
2. 当社は、財団法人新エネルギー財団が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構から助成を受けて実施する「定置用燃料電池大規模実証事業」に平成17年度第1期から参画しております。同第1期では関東地方を中心に12台、同第2期では関東以西(四国地方を除く)に18台設置いたしました。本年度は設置地域をさらに拡大し、東北地方や四国地方にも設置いたします。
3. また、「JOMO ECOCUBE」の本年度モデルでは、本体(燃料電池部分)のパッケージデザインを若干変更するとともに、昨年度機に比べ大幅な軽量化(170kg→125kg)を図っております。
4. 「JOMO ECOCUBE」の仕様は次のとおりです。
 - (1) 定格発電容量: 700W
 - (2) 定格発電効率: 30%以上 (HHV)
(注) HHV
Higher Heating Value(高位発熱量)の略。
 - (3) 定格総合効率: 65%以上 (HHV)
 - (4) サイズ: (本体)H 895×W 870× D 330(mm)
(貯湯槽)200リットル
 - (5) 重量: (本体)125kg
 - (6) 燃料: LPG
 - (7) システム提供: 東芝燃料電池システム株式会社

以上

● 【参考資料】本年度モデルの「JOMO ECOCUBE」および設置した第1号機



本年度モデルの「JOMO ECOCUBE」



本年度設置第1号機